

第3回学校運営協議会 議事録

日 時：令和7年2月4日（火）18：00～19：30

場 所：府立桜塚高等学校 会議室

参加者：【協議会】 古川、島村、北之坊、古沢、崎阪、小川

【学 校】 今西（准校長）、小西（教頭）、根岩（首席）、堺（教務部長）、
大矢（進路指導部長）、西原（保健主事）、室津（事務室）

・議事はシナリオに沿って進行

1 開会

学校運営協議会会長によるあいさつに続き准校長あいさつ

2 報告

令和6年度学校評価について

准校長から資料（資料1：令和6年度学校経営計画及び学校評価、資料2：授業アンケート結果、資料3：学校自己診断）の修正点を説明

准校長：アンケートの母数が少ないため、経年での傾向がつかみにくい。

3-1-1 目標を達成した 3-2-1 新入生の進級率はこれから判明する。それ以外は達成した。 3-3-1 すべて目標を達成した。 3-4-1 (1)アとイの2項目が未達成 3-5-1 目標達成した。

その他、地域連携のトピックとして、豊中市社会福祉協議会の協力で本校生徒が介護初任者研修に参加させてもらい、生徒7名が資格を取得できた。費用を負担していただきテキスト代だけで受講でき、大変ありがたい。

1月8日には炊き出しでカレーを振舞っていただき、新型コロナ禍で中学校時代には対面会食の経験が少ない生徒たちにとって良い経験になった。

3 協 議

令和7年度学校経営計画について

准校長から資料（資料4 令和7年度学校経営及び学校評価）の説明と令和6年度からの変更点の説明。

追加説明：居場所事業について、SSWの配置の効果検証で指標となるものが中途退学率である。しかし、職員が生徒や保護者と長い時間をかけて本校で学ぶことについて丁寧に話をすすめていても、最終的に進路変更等で本校を退学するケースもあり、単に退学率の数字だけで教職員の頑張りや生徒・保護者の思いを判断されることは本意ではないため、目標の数値から外すこととした。

2-3-エ を新設した。

Q1 重点校ということだがSSWの回数は？

A1 月2回である。

Q2 進級率の母数はいつの時点を使うか？

A2 年度末の在籍者数を用いる。

4 本年度の取り組みについて

教務部からの状況報告（資料5）

訂正：1. 生徒在籍について 2年の退学者数3 → 5、3年退学者数 1名（進路変更）

資料5の説明

生徒指導部からの状況報告

訂正：2. 学校行事に関して 【変更理由】最初の行は② → ①に直す

資料6の説明（自治会活動（球技大会・文化祭等）状況報告）

6-3 いじめアンケート第3回の1名は「今はない」とのことなので見守りを継続している。

進路指導部からの状況報告

資料7の説明

- ・未内定者 → ハローワークにつなげていく
- ・指定求人してくれた企業には就職しなかった

【質疑応答】

Q1. ラーケーションとは何か？

A1. ラーニングとバケーションの造語。保護者と学習を兼ねて旅行する行動をいう。

Q2. 保健室来室者で3年生の2クラスで差があるのではないか？

A2. 特定の生徒が何度も通うので偏りが出る。

Q3. いじめアンケート3回目がぐんと少ないのは4年生が減っただけで該当者が減ったのか？

A3. 1年生前期でトラブルを起こす生徒が学校に来なくなるため、1回目に比べて3回目の人数が減少した。

Q4. 生徒異動状況で経済的理由の生徒はどれくらいか？

A 4. 経済的理由の生徒はいない。

Q 5. 4年生の2月の自己学習期間は「原則登校させない」とあるが、逆に登校させて自習室などで学習させてはどうか？

A 5. 4年生を校内で自由にすると1～3年生の授業に影響が出る。自習監督の人員が必要などがある。

Q 6. 「登校させない」という表現はほかに工夫して表現を変えたほうが良い

A 6. 表現を変更する。

Q 7. Q5の期間はどれくらいか

A 7. 8日間程度を予定している。

Q 8. 地域のコミュニティとの連携が進んでいるので、4年生のこの期間をボランティアなど地域との有効活用に使ってほしい。支援者は多いので生徒の学びの機会を作ってもよい。

A 8. ぜひ前向きに検討したい。

5 閉会挨拶

准校長より

生徒は皆、本校が好きであるし手厚い指導が行われているが、学校を出てから外とのつながりをどれだけ作れるかが今後の課題である。

以上